

平成25年度

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成24年度事業)

<目次>

1 はじめに	1
2 点検評価の基本方針	1
3 飯能市教育行政の重点施策について	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価	22
5 教育委員会の活動状況と評価	24
6 評価懇話会委員の意見等	27
7 おわりに	27
※ 資料（各所属の評価結果）	28

平成25年8月1日

飯能市教育委員会

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）の一部改正により、平成20年4月からすべての教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないことになりました。（法第27条第1項）

この報告書は、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が法の規定に基づき、毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、平成24年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をとりまとめたものです。

2 点検評価の基本方針

（1）目的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

（2）点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

また、点検及び評価を通じて事業の成果等を明らかにするとともに、課題や今後の取組の方向性を明確にすることを目的としています。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から、学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており（法第27条第2項）、これを受けて教育委員会では学識経験者等で構成する「飯能市教育委員会評価懇話会」を設置し、毎年度2回開催しています。平成24年度の教育行政の重点施策の評価については、平成24年10月12日に開催した評価懇話会において、中間報告についてのご意見をいただき、平成25年4月23日には、評価結果に対するご意見をいただきました。

＜飯能市教育委員会評価懇話会委員＞

(任期：平成25年4月1日～平成27年3月31日)

会 長	増 田 時 夫	職務代理者	本 橋 萬 智 子
委 員	落 合 慎 一	委 員	金 井 修 子

3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、平成24年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定めました。

なお、重点施策の該当項目の最後に、各所属が掲げている平成24年度の事業名と結果を表記しました。

＜平成24年度飯能市教育行政の重点施策＞

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

目 標 「飯能を愛し、夢や希望をもち明るく元気に学び実践する人づくり」

合 言 葉 「共育」 ―自主・責任・連携―

基本方針

- | |
|---|
| I 生きる力を育成する学校教育に取り組めます。 |
| II 安心・安全な学習環境づくりに取り組めます。 |
| III 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組めます。 |
| IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組めます。 |
| V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組めます。 |

I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます

1 生きる力を育む教育指導の充実

(1) 確かな学力を育む教育の充実

- ① 「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進
- ・新学習指導要領の全面実施を着実に進めます。
 - ・K4KID宣言^{*}に基づき、指導内容・指導方法の工夫改善を進めます。

※K4KID宣言とは、学校と家庭・地域が連携して取り組むことを目指した、飯能市独自の学力向上のための宣言。授業改善の視点K4（課題・活動・確認・価値）と家庭での取組KID（家庭学習・あいさつ・読書）を明示した。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		<達成率 99%>	< B 評価 >
H23からの継続目標			
事業名 学力向上プロジェクトの推進	学力の向上	<p>○「教育に関する3つの達成目標」</p> <p>●読み書き 県：小96.2% 中93.0% 市：小94.7% 中92.1% 達成率：小98.4% 中99.0%</p> <p>●計算 県：小96.3% 中90.5% 市：小95.3% 中90.4% 達成率：小99.0% 中99.9%</p> <p>*（H18開始以来、小の読み書き、小・中の計算で過去最高値）</p>	検証結果が県平均に限りなく近づいたので期待どおり。

② 学習状況を把握し改善に向けた取組の推進

- ・「全国学力学習状況調査」「埼玉県小・中学学習状況調査」「教育に関する3つの達成目標」等の結果の分析に基づく学習改善を進めます。

(2) 社会の変化に対応した教育内容の充実

① 伝統と文化を尊重する教育の推進

- ・郷土学習資料「私の誇るふるさと 飯能」を活用し、郷土を愛する心の育成を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		<達成率110%>	< A 評価 >
新規目標			
事業名 郷土を愛する教育の推進	飯能を好きな（誇りに思う）児童の育成	<p>○「飯能を好きな（誇りに思う）」児童7割以上達成。 （第2回調査5年77.6%、6年72.1%） *好きな理由について、歴史や文化を捉えた回答が多くみられた。</p>	飯能を好きな児童が多く期待を上回る。

② 国際理解教育の推進

- ・豊かな国際性を身に付ける国際理解教育を進めます。

③ 環境教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。

④ 情報教育の推進

- ・教育機器を活用した授業づくりを進めます。
- ・情報機器を整備し、情報活用能力と情報モラルの育成を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター			<達成率110%>	< A 評価 >
事業名	新規目標	テレビ会議を活用した授業の導入	○テレビ会議システムを活用した授業研究会は3校で3回実施。 ○その他教育機器を活用した授業研究会は10校で10回実施。	システムを活用した研究会や小中学校の光化の完了で期待を上回る。
	教育機器を活用した授業づくりの推進			

⑤ キャリア教育の推進

- ・生き方指導としての進路指導・キャリア教育を進めます。

(3) 心の教育の充実

① 人権教育の推進

- ・基本的人権を尊重する教育を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター			<達成率110%>	< A 評価 >
事業名	新規目標	飯能市全体としての取組実施	○「飯能市いじめゼロ子ども会議」を開催し、市内各小中学校のそれぞれの取組を共有できた。 ○会議を受け、各校児童会・生徒会で取組を進めている。	参加者から大きな評価を貰ったため期待を上回る。
	いじめ問題への積極的な取組推進			

② 道徳教育の推進

- ・「おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう」というあいさつと感謝の言葉がかわせるような子どもの育成を進めます。
- ・道徳教育推進教師を中心とした、学校教育活動全体での道徳教育を進めます。

③ 教育相談活動の推進

- ・児童生徒一人ひとりに応じた生徒指導・教育相談を進めます。

④ ボランティア・福祉教育の推進

- ・ボランティア・福祉教育にかかわる教育活動を進めます。

⑤ 特別支援教育の推進

- ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育を進めます。

(4) 健康・体力の増進と安全教育の充実

① 健やかな体を育む教育の推進

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」運動を推進し、子どもの生活リズムの向上を進めます。
- ・体力・健康に関する指導について研究を実践し、その成果を各学校に広め体力向上を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		体力の向上	<達成率 90%>	<B評価>
事業名	H23からの継続目標 体力向上の推進		○新体カテストで県目標値のAとBランクの合計 小45.7% 中58.6% *小学校の低位層の底上げができた。	達成目標を概ね達成したので期待どおり。

② 安全教育の推進

- ・児童生徒の主体的姿勢を育てる防災教育を進めます。
- ・自他の生命を尊重する安全教育を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		児童生徒の防災意識の向上	<達成率 75%>	<C評価>
事業名	新規目標 児童生徒の主体的な姿勢を育てる防災教育の推進		○児童生徒の防災意識が向上した学校 小学校 80% 中学校 65%	防災訓練に中学校が参加しなかったため期待をやや下回る。

③ 食育の推進

- ・学校給食における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め、食育を進めます。

2 幼稚園・学校経営の充実

(1) 特色ある学校づくりの充実

① 学習林活用教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。【再掲】

② 小規模校の特色を生かした教育の推進

- ・恵まれた環境と少人数の良さを生かした教育を進めます。

③ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

- ・各学校の学校応援団を整備し、学校応援団を活用した連携を進めます。

④ 総合的な学習の時間の推進

- ・地域の人材や施設を活用した教育活動を進めます。

(2) 校種間連携の充実

- ① 幼稚園、保育所、小学校の連携の推進
 - ・幼保小の連携体制を確立し、校区の課題を明確にした連携を進めます。
- ② 小学校、中学校の連携の推進
 - ・小学校、中学校の連携体制を確立し、校区の課題を明確にした連携を進めます。
 - ・授業を通じた連携を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター			<達成率80%>	< C 評価 >
事業名	新規目標	小中連携の体系化	○各中学校区に於いて合同研修会、相互の授業公開など多様な連携が図られ、次年度の各校のランドデザインへの反映に向けた準備が進められている。	小中の連携は進んでいるが、若干の遅れがある学校も見られ期待を下回る。
	9年間を見通した小中連携の推進			

- ③ 中学校、高等学校の連携の推進
 - ・上級学校訪問を充実します。

(3) 小規模校における教育活動の充実

- ① 小規模校の特色を生かした教育の推進
 - ・恵まれた環境と少人数の良さを生かした教育を進めます。【再掲】
- ② 小規模特認校制度の推進
 - ・制度の周知方法を工夫し、制度の利用増を図ります。
- ③ 複式学級設置校の教育課程の工夫の推進
 - ・完全複式*に対応できる教育課程の研究を進めます。

※完全複式とは、低・中・高学年の隣接学年がすべて複式学級となった状態です。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター			<達成率80%>	< C 評価 >
事業名	新規目標	「完全複式」に対応できる教育課程（案）の作成	○研究のまとめ冊子は完成。 *複式学級3、いわゆる「完全複式」の教育課程は研究途上、成案には至っていない。	完全複式の教育課程は研究途上のため期待を下回る。
	「完全複式」に対応できる教育課程の実践研究の推進			

3 教職員の資質の向上

(1) 教育センターを中心とした教職員研修の充実

- ① 職責に応じた研修の推進
 - ・教職員の指導力の向上を図るため、教育センター研修を計画的に進めます。
 - ・教職員倫理の確立のため、事故防止委員会を中心とした取組を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		研修内容の充実	<達成率106%>	< A 評価 >
事業名	新規目標 新学習指導要領全面 実施を踏まえた研修 の推進		○研修会参加者の満足度 4.77	参加者から高い満足 度の評価を貰ったため 期待を上回る。

② 外部機関との連携による研修の推進

- ・市内の大学と連携し、専門的な指導力の向上を図る研修を進めます。

(2) 人事評価制度の充実

① 教職員評価システムの推進

- ・人事評価に関する研修を実施し、教職員評価システムの信頼性を高め学校の活性化を進めます。

II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます

1 学校施設の整備

(1) 学校施設の整備の推進

① 校舎等の耐震化の推進

- ・耐震補強事業を推進します。(飯能第一中学校及び東吾野小学校の校舎耐震補強工事、名栗小学校の屋内運動場耐震補強工事、原市場中学校の校舎耐震補強設計業務、飯能西中学校の屋内運動場耐震補強設計業務)

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課		<達成率 100%>	<B評価>
H23からの継続目標			
事業名 小・中学校耐震補強改修事業	平成23年度から繰越した第一中学校校舎、東吾野小学校校舎、名栗小学校屋内運動場の耐震補強工事を実施する。また、原市場中学校校舎、飯能西中学校屋内運動場の耐震補強工事のための設計を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・第一中学校の耐震改修については、予定どおり校舎の1/2にかかる工事を行った。 ・東吾野小学校校舎については、予定どおり工事を終了することができた。 ・名栗小学校屋内運動場については、地域の要望等を考慮しながらの工事であったが、大きなトラブル等はなく実施することができた。 ・次年度に係る設計については、1月末日に完了した。 	要望を生かした工事と設計が予定どおり完了したので期待どおり。

② 安全に配慮した施設の管理と改修の推進

- ・施設の老朽化に対し、計画的な改修を進めます。(飯能第一中学校の校舎大規模改修工事、東吾野小学校の校舎改修工事、名栗小学校の屋内運動場大規模改修工事)

③ 社会の変化に応じた学習環境の整備

- ・正規調理員の定年退職により、平成25年度から正規調理員を配置できない学校があるため、学校給食の調理業務の民間委託の導入を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課		<達成率90%>	<B評価>
H23からの継続目標			
事業名 小学校通学バス運行事業	国際興業(株)と平成24年度から25年度まで2年間の長期継続契約を締結したが、国際興業(株)飯能営業所の撤退表明を受け、今後の通学バスの運行に係る方針(案)を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・国際興業バスについて、平成26年4月1日以降も市内の運行を継続することの協定が締結された。通学バスについては、路線バスを活用した運用となっていることから、この協定の締結により、これまでと同様に通学バスを維持できることとなった。 	通学バスの運行を継続する協定を締結できたので期待どおり。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	学校給食の調理業務の民間委託を平成25年4月から飯能第一中学校、加治中学校、飯能西中学校の3校に導入する。	<達成率110%> ・12月13日の見積提出会で3校の委託業者3社が決定した。 ・市で雇用している臨時調理員を対象に、決定した委託業者による求人説明会を開催し、市臨時調理員の雇用促進を図った。 ・学校栄養士、委託業者と調整を図り、4月からの委託導入に向けての準備に万全を期した。 ・平成26年度に委託をする学校は、美杉台中に決定した。	< A 評価 > 3校の委託業者が決定し、臨時調理員を全員雇用できたので期待を上回る。
H23からの継続目標			
事業名	学校給食民間委託事業		

2 就学援助の推進

(1) 就学援助の推進

① 利用しやすい奨学金制度への見直し

- ・奨学金返還金の未納が増えている状況のため、未納を減らす対策を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	奨学金返還金の未納が増えている状況のため、未納を減らすための対策を講じて未納額を前年度より減らす。	<達成率100%> ・未返還者については、未返還金全額を一括で返還するよう、訪問、電話、文書による督促を行った。また、督促に返答がないものについては、連帯保証人へ未返還金全額を一括で返還するよう請求を行った。 ・督促等を行ったことにより、長期間返答がなかった者から返還の相談があった。 ・未納額が3月末現在、25,875,414円で前年同月に比べ1,667,500円減額した。	< B 評価 > 返還請求を行い、未納額を減額できたので期待どおり。
新規目標			
事業名	奨学金貸付事業		

② 高額な通学費への支援

- ・保護者負担を軽減するための「飯能市高等学校等通学費補助金」を実施します。

Ⅲ 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組めます

1 家庭教育・地域教育の推進

(1) 家庭教育・地域教育の推進

① 家庭の教育力の向上

- ・小学生を対象に通学合宿を実施し、感謝の心を育み、あいさつと早寝早起き朝ごはんの習慣が身につくよう取り組みます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		子どもたちの自主性、社会性及び忍耐力を養うとともに、集団生活を送る中で基本的な生活習慣を身に付ける。	<達成率110%>	< A 評価 >
事業名	H23からの継続目標 基本的な生活習慣の推進事業		定着率調査の結果、あいさつと感謝については100%、早寝早起きについては78%の実践となり、通学合宿の成果があった。また、加治東、精明公民館においても宿泊合宿事業が実施され、学校、地域の連携により世代間交流にもつながった。	アンケートによる定着率が目標を超えたので期待を上回る。

② 地域での子どもの自立支援

- ・新成人に対して成人式の目的を再認識させ、心から祝い励ます式典になるよう取り組みます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		新成人に対して成人式の目的を再認識させ、心から祝い励ます式典にする。	<達成率110%>	< A 評価 >
事業名	新規目標 成人式開催事業		教育委員会内及び選挙管理委員会と綿密な打ち合わせを行い、当日役員の増員、司会の一部変更、20年を振り返る映像の作成を行った。1月14日に式典を挙行了したところ、静かで厳かな秩序ある式典を開催することができた。式典参加者率は、当日の天候（雪）の影響もあり76.2%であった。	例年になく秩序が保たれたため期待を上回る。

IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます

1 生涯学習推進体制の整備

(1) 学習環境の整備

① 学習環境の整備

- ・時代の変化や多様な学習ニーズに応えられるよう、新図書館の建設を完了し、利用者サービスの充実を図ります。
- ・新図書館サービス・運営計画の策定をします。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館	時代の変化や多様な学習ニーズに応えられるよう、新図書館の建設を完了する。	<達成率110%>	< A 評価 >
H23からの継続目標			
事業名 新図書館建設を完了させる		西川材の調達は順調に行われ、建設関連の諸工事は3月末まで契約期間を延長したが、年度内に完成し建物の引き渡しを受けた。 備品・消耗品の発注を行い3月中に納品された。 4月の電算システム契約入札に必要な仕様と契約方法について関係部署・関係業者と協議を行った。	全体的に満足度の高い成果により期待を上回る。
関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館	新図書館開館に向けてサービス・運営計画を作成する。	<達成率110%>	< A 評価 >
H23からの継続目標			
事業名 新図書館サービス・運営計画の策定		11月にパブリックコメントを実施し、寄せられた意見を最終案に反映させた。国が定める基準の改定にも対応して内容を修正した。 最終案は教育委員会、行政経営会議、全員協議会を経て3月に市民に公開した。	全国に先駆けて計画に盛り込めたため期待を上回る。

② 学習情報の提供

- ・市の広報やホームページのほか地元新聞やケーブルテレビ等を活用し、幅広く学習情報を提供します。

(2) 生涯学習ネットワークの構築

① 教育機関との連携

- ・市民の多様な学習ニーズに応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。

2 生涯学習機会の充実

(1) ライフステージに応じた学習機会の充実

① 多様な学習機会の充実

- ・市の専門的知識を提供することにより、市民の生涯学習の一助とするとともに、市民の積極的なまちづくりへの参加を促すため、生涯学習出前講座を充実します。
- ・生涯学習の推進のため、公民館と生涯学習課、体育課及び他部局との連携を図り、学習相談体制の充実を図ります。
- ・学校や青少年関係団体等と公民館が連携し、情操教育、健全育成のための事業を推進します。
- ・地域課題や社会の変化に応じた公民館の講座を開催することにより、生涯学習の拠点施設としての充実を図ります。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		地域課題や社会の変化に応じた公民館の講座を開催する。	<達成率 95%>	< B 評価 >
事業名	H23からの継続目標		各公民館ごとに地域の課題を捉え、講座を開催した。地域の年齢層を捉えたり、地域の歴史や防災に関する講座などを開催した。	各公民館で講座が開催できたので期待どおり。
	学級講座の充実			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		生涯学習の推進のため、市民への情報発信を積極的に行う。	<達成率95%>	< B 評価 >
事業名	H23からの継続目標		情報発信については、これまでの各館の広報紙「だより」を通して情報発信を行った。この発信方法は紙面の規模や発行回数を変更した。また、地域内の掲示を新たに試みることも行った。出前講座の2回達成は実施できなかった。	概ね目標値に達したので期待どおり。
	学習相談体制の充実			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		学校や青少年関係団体、地域の団体などと公民館が連携した事業を行う。	<達成率 100%>	< B 評価 >
事業名	新規目標		学校や各団体との連携した事業の推進は、市役所の各課、商工会議所、食生活改善推進委員会、まちづくり推進委員会、PTAなどと連携した事業を行った。	地域やボランティアの活用も図れ、概ね目標値に達したので期待どおり。
	学校との連携			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		市民が心身ともに元気に地域活動に参加できるように、地域住民の健康増進を図る。	<達成率 100%>	<B評価>
事業名	新規目標		ウオーキングについては、各館で積極的に事業を実施した。地域を知るためのウオーキングや地域に関連した地域外の地域でのハイキングなど地域の魅力の発見と健康づくりに繋がる事業を実施した。また、バランスで若さアップなど健康づくり事業を推進した。	各館で開催できたことから、概ね目標値に達したので期待どおり。
	健康増進講座の充実			

② 図書館活動の充実

- ・ 図書資料の整備と整理を進め、視聴覚資料の導入をします。
- ・ 新図書館開館へ向けての例規類等の整理・整備をします。
- ・ 「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組み計画の実践と推進をします。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		新図書館開館に向けて、図書資料の整備と整理を進めると共に、視聴覚資料の導入を開始する。	<達成率200%>	<S評価>
事業名	新規目標		郷土行政資料の再整理は完了した。 外国語資料250冊、CD 250点、DVD 200点の発注・受入れを完了した。 新図書館開館用資料として約5千冊の選書を実施した。 資料配置を考慮した移転計画を作成した。	100%補助事業により事業を実施できたため期待を著しく上回る。
	図書資料、視聴覚資料の整備			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		新図書館開館に向けて、例規類等の整理・整備をする。	<達成率 100%>	<B評価>
事業名	新規目標		関連する条例・規則改正を行った。 図書館資料選定基準案を作成し、各種業務マニュアル集の素案も完成した。	条例・規則改正、マニュアルの素案等、概ね目標値に達したので期待どおり。
	例規類の整備・充実			

③ 世代別学習機会の充実

- ・ 小学生を対象に地域の大人や学生スタッフと協力して通学合宿を実施し、世代間交流を図ります。

(2) 現代的課題に関する学習機会の充実

① 人権に関する学習機会の充実

- ・ 様々な人権問題についての理解を深めるための講座を開催するとともに、地域で人権意識の高揚と啓発を行うための指導者養成を図ります。

3 地域学習の充実

(1) 市民文化活動の推進

① 市民文化活動の奨励

- ・ 市民文化活動の一層の普及発展を図るため、飯能市文化振興会議を設置します。
- ・ 市民の文化・スポーツ活動において優秀な成績を収めた個人・団体に対して文化スポーツ奨励金を交付し、活動を支援します。
- ・ 市民の文芸創作活動をうながすとともに、市民文化の向上を図るため、文藝飯能を刊行します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		市民の文化活動の一層の普及発展を図るため、その振興方策等について研究協議することを目的に飯能市文化振興会議を設立する。	<達成率100%>	<B評価>
事業名	新規目標		第2回の会議（10月開催）で各委員から各地域での文化的事業等の情報を持ち寄っていただき意見交換を行った。その中で毎年テーマを設けるということで意見がまとまった。そのテーマを基本とし美術展や文化祭などの文化的事業の開催に反映させていけるよう第3回（2月開催）の会議で意見をまとめ、各事業へ提言した。	達成目標を概ね達成したので期待どおり。
	市民の文化活動普及事業			

(2) 自然・歴史・文化遺産の継承と活用

① 地域資料の調査、保存と活用

- ・ 埋蔵文化財の室内整理作業を積極的に進めることで埋蔵文化財を利用できる状況にし、普及活用を図ります。
- ・ 『文化財マップ』、『飯能の指定文化財』を活用した文化財めぐり、文化財講座を実施し、市民が文化財に親しむ土壌を作ります。
- ・ 埋蔵文化財出土品の展示、小中学校への出張授業、市民への講座の開催、中学校の社会体験チャレンジの受け入れなどを実施します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		市民の文化財への関心を高めるため、市内の文化財めぐり、文化財講座を実施する。	<達成率100%>	<B評価>
事業名	H23からの継続目標 文化遺産の普及活用事業		8月3日に親子文化財めぐりを実施し、定員・申込み人数ともに20名だった。文化財講座は「古代・中世・近世の飯能を学ぶ」というテーマで開催し、定員50名、申込み64名だった。3月8日には、文化財講座の近世の石仏をテーマとした内容に合わせて石仏めぐりを実施し、定員30名、申込み56名で抽選による参加となった。なお、文化財講座の講師であった坂口和子氏に同行していただき石仏解説を行ってもらった。	文化財の講師に石仏の解説をしていただいたので期待どおり。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		・区画整理事業に伴い実施した発掘調査の室内調査を計画的に実施し、平成27年度までに終了させる。 ・市単独事業等の室内調査を長期計画に基づき計画的に進める。	<達成率100%>	<B評価>
事業名	新規目標 埋蔵文化財室内調査の推進事業		区画整理事業関連は、同一事業である発掘調査が想定以上の調査量であったため、室内調査賃金に不足が生じ、その分作業の進捗が遅れてしまった。市単事業については、計画どおり『飯能の遺跡40』を刊行し、初期の計画を達成した。しかし、年度末に急きょ発掘調査が予定され、1~3月計画していた室内調査の一部を予算不足から翌年度に繰り越さざる得ない状況となった。	達成目標を概ね達成したので期待どおり。

② 郷土館活動の充実

- ・特別展示「飯能の山岳宗教」（仮称）を実施し、その充実を図ります。
- ・収蔵図書整理・収納を行い、利用の効率化を図ります。
- ・市民学芸員活動（博学連携型、文書整理型）の充実を図ります。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		特別展「飯能市域の山岳寺院」（仮称）を多くの人に見ていただくとともに、来館者が満足できる内容とする。	<達成率 110%>	< A 評価 >
事業名	新規目標		48日間の会期中、入館者数のべ5,353人、1日平均111.5人、アンケートによる満足度82%であった。関連事業も含め、来館者からは好評で、山岳寺院を地域資源として紹介することができた。	来館者の満足度も高く、展示図録も完売したことから期待を上回る。
事業名	特別展の充実			
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		「成熟した市民社会の実現」の1つとして郷土館では市民学芸員の活動を充実させる。	<達成率100%>	< B 評価 >
事業名	H23からの継続目標		例会11回、学習会準備会等9回、部会活動2回の計22回の活動を行った。麦・花・生花サークルなどを立ち上げたこともあり、活動が活性化した。	概ね目標値に達し、サークルの立ち上げもあり期待どおり。
事業名	市民学芸員活動の充実			
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		当館で保有している情報の効率的な活用、市民への提供をめざして、他博物館・他市等から寄贈される図書の受入基準を策定する。	<達成率90%>	< B 評価 >
事業名	新規目標		図書受入基準を策定し、目標は達成した。しかし、配架スペースの確保はできなかった。	概ね目標値に達したので期待どおり。
事業名	収蔵図書の整理			

③ 市民主体による地域活動の支援

- ・郷土芸能保存会による伝統芸能の活動や郷土芸能講習会の開催を通して、市民自らが地域の歴史や文化を伝承できるよう活動を支援します。

4 学習成果の還元

(1) ボランティア活動への支援

① ボランティアの育成と活動支援

- ・青少年問題協議会の課題解消に向けて調査研究を実施します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		青少年問題協議会の課題解消に向け調査研究を行う。	<達成率75%>	< C 評価 >
事業名	新規目標		近隣市等の確認をし2つの団体のスリム化を研究してきたが、行政改革により、青少年健全育成に係る組織全体を考える意見がでたため方向性については検討中である。なお、3月28日の会議では、学校教育課指導主事より「飯能市いじめゼロ子ども会議の報告」をいただいた。	方向性について検討中であるため期待を下回る。
事業名	青少年関連団体の支援事業			

(2) 人材の養成・団体への支援

① 指導者登録制度の充実と活用

- ・市民の様々な学習要求に応えるため、生涯学習人材バンクを設置します。

② 人材の養成と活用

- ・地域の子ども会活動の充実を図るため、子ども会育成会役員研修会及び子ども会遊びの研修会を実施します。

(3) 学習成果を生かすしくみの整備

① 発表の場の提供・充実

- ・市民の様々な学習活動の成果発表ならびに交流の場として、生涯学習フェスティバルを開催します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		青少年健全育成および子ども体験の要素を加え、世代を超えた相乗効果を図れる生涯学習フェスティバルを実施する。	＜達成率110%＞	＜A評価＞
事業名	H23からの継続目標 生涯学習フェスティバルの実施		3月17日、晴天に恵まれ実施し一般来場者は450人であった。展示、発表、飲食物販、青少年健全育成講演会等、様々な体験から仲間づくりと世代間交流ができた。アンケートの結果、満足度は95%であった。今回、PRに力を入れ、小中学校始め市内のイベントでチラシを積極的に配布した。	達成目標を超える来場者数があり、盛況であったため期待を上回る。

V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます

1 健康体力づくり事業の充実

(1) 公民館を拠点とした活動の推進

① 健康体力づくりの展開

- ・幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
体育課	公民館を拠点としたウォーキングの取り組みを強化するとともに、幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開する。	<達成率100%> ・エクササイズウォーキング 3回開催 参加率63% 前年度比 24%減 ・ワンデーレッスン 7回開催 参加率116% 前年度比 51%増 ・体験コース 3回開催 参加率83% ・バランスDE若さアップ 6回開催 参加率82% 前年度比 21%増 ・広報はんのう、市HP及びチラシを作成し参加者募集を行った。 ・公民館の文化祭で体組成計を使った健康アドバイスを行った。	< B 評価 > 達成目標を概ね達成したので期待どおり。
H23からの継続目標			
事業名 ウォーキングを基にした健康体力づくりの推進			

② ウォーキングのまちづくり

- ・公民館を拠点としたウォーキングの取り組みを強化します。

(2) スポーツイベントの充実

① 飯能新緑ツーデーマーチ

- ・全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適な大会を実施します。また、第11回大会に向けた企画案を策定します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
体育課	全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適な大会を実施する。また、第11回大会に向けた企画案を策定する。	<達成率110%> ・コース部会によるコース下見を実施し、12月に11回大会のコースが決定した。 ・市制施行60周年記念事業、東日本大震災復興応援をテーマに目標人数20,000人を目指した大会計画が決定した。 ・例年より1ヶ月早い3月1日から募集開始を行った。 ・業務進捗状況を10回大会の反省に基づき見直した。	< A 評価 > 予定どおり大会を開催し、吾野コースの新設もできたので期待を上回る。
H23からの継続目標			
事業名 飯能新緑ツーデーマーチ			

② 奥むさし駅伝競走大会

- ・参加チームが安心して走れる環境と運営方法の効率化を検討します。また、第11回大会に向けた企画案を策定します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		参加チームが安心して走れる環境と運営方法の効率化を検討する。また、第11回大会に向けた企画案を策定する。	<達成率110%> ・出場チームの上限220チームに対し、261チームの応募があったため、競技規程に基づき選考した。 ・中継所備品、閉会式・表彰式の備品について、レンタルで対応したことにより、大会準備や現場での作業が効率化できた。 ・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。	< A 評価 > 有名選手の参加や自治会の協力により盛大に開催できたので期待を上回る。
H23からの継続目標	事業名 奥むさし駅伝競走大会			

(3) 生涯スポーツ推進体制の整備

① スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援

- ・NPO法人飯能市体育協会に補助金を交付し、各種スポーツ・レクリエーション団体の活動を支援します。また、全国大会出場などの有望選手及び有望団体へスポーツ奨励金を交付し、活動を支援します。

② スポーツ教室等の開催

- ・市民スポーツ・レクリエーション活動を推進するため、NPO法人飯能市体育協会に事業の開催を委託します。

③ ホッケーのまちづくり

- ・「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針に定める具体的な取り組みを推進します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針に定める具体的な取り組みを推進する。	<達成率105%> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回ホッケー教室 小学校:7校 中学校:2校 高校:1校 ・中学生放課後:1クラブ ・市HP及び市民活動センターを利用し、ホッケーのまち飯能をPRした。 ・中学校部会を開催し、中学校に係る取組について、学校関係者と意見交換を行った。 ・競技団体と意見交換を進め、「ホッケーのまち飯能」推進計画(平成25~29年度)を策定した。 ・ロンドンオリンピック出場の加藤明美選手による市内3小学校での講演会を開催した。 	< A 評価 > 体育の授業カリキュラムとし、全国大会の誘致決定により期待を上回る。
新規目標				
事業名	ホッケーのまちづくり			

2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

(1) スポーツ施設の計画的な修繕の実施

① 施設修繕計画の策定

- ・施設の利便性・安全性を向上させるため、修繕計画を策定し、更新及び修繕を実施します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		施設の利便性・安全性を向上させるため、修繕計画を策定し、更新・修繕を実施する。	<達成率100%> <ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館屋上防水工事が完成した。 ・修繕工事 市民体育館事務室前自動ドア他修繕(10月完成) 市民体育館サブアリーナ器具庫扉交換修繕(3月完成) ・全日本男子ホッケー選手権大会の開催に向けて、体育協会と連携しホッケー場の施設修繕を実施した。 ・施設の利便性・安全性を向上させるための修繕を行った。 	< B 評価 > 達成目標を概ね達成したので期待どおり。
H23からの継続目標				
事業名	施設の修繕と計画の策定			

(2) スポーツ施設の効果的な管理運営

① 利用者サービスの向上

- ・運動施設の利便性の向上を図るため、美杉台公園運動施設の月曜日（休場日）を開放します。また、スポーツ関係情報を発信します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		運動施設の利便性の向上とスポーツ関係情報の発信をする。	<達成率 90%>	<B評価>
事業名	H23からの継続目標 利用者サービスの向上		<ul style="list-style-type: none"> ・市民球場について、12月、3月の休場期間を開場した。 ・美杉台公園の3施設の月曜日開場を行った。 ・市民体育館ロビーの配置換えを行った。（中央にあった下駄箱を端に寄せ、スペースを確保した。） ・すべての体育施設を一覧にしたパンフレットを作成した。 ・指定管理者更新方針を決定した。公募により、5年間の指定管理者を募集することとなった。 	達成目標を概ね達成したので期待どおり。

4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

(1) 総括

平成24年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待を上回る（A評価）」と「期待どおり（B評価）」に事業を実施できた割合は、全37事業中32事業あり、全体の86.5%を占めました。また、「期待を顕著に上回る（S評価）」が1事業ありました。一方、「期待をやや下回る（C評価）」は4事業でした。全体としては、良好な事務執行ができたと評価できますが、C評価の事業については、目標を達成できなかった原因等を明らかにし、改善等を図る必要があります。

<集計表>

所管課	評価結果の内訳（事業数）					事業数合計
	S	A	B	C	D	
教育総務課	0	1	3	0	0	4
学校教育課・ 教育センター	0	4	2	3	0	9
生涯学習課	0	3	3	1	0	7
体育課	0	3	3	0	0	6
図書館	1	2	1	0	0	4
公民館	0	0	4	0	0	4
郷土館	0	1	2	0	0	3
事業数合計	1	14	18	4	0	37
H23との比較	△1	4	△7	1	0	△3
評価の割合	2.7%	37.8%	48.7%	10.8%	0.0%	100.0%
H23との比較	△2.3%	12.8%	△13.8%	3.3%	0.0%	

(参考) 平成23年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果

	S	A	B	C	D	事業数合計
事業数	2	10	25	3	0	40
評価の割合	5.0%	25.0%	62.5%	7.5%	0%	100.0%

(参考) 評価の基準

評価点	達成割合	説明
S	120%以上	期待を顕著に上回る
A	105～120%未満	期待を上回る
B	90～105%未満	期待どおり (標準)
C	75～90%未満	期待をやや下回る
D	75%未満	期待を下回る

(2) 各事業の評価状況

各所属の評価結果については、28ページ以降に掲載しています。

5 教育委員会の活動状況と評価

平成24年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

【主な活動状況】

項 目		回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数 (臨時会を含む)	15回	定例会及び臨時会の開催 定例会(12回) 臨時会(3回)
	教育委員会会議の傍聴者の状況	1人	
	議事録の公開、広報・広聴活動 の状況	—	議事録(概要)、会議日程を ホームページに掲載
	教育委員の研修会への参加状況	3回	「入間地区教育委員会連合会 視察研修」ほか
	学校・所管施設訪問	15ヶ所	小学校1校、中学校3校、 公民館8館、郷土館、図書館、 こども図書館

項 目		回数等	活動内容等
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	5議案	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会要綱の制定及び一部改正、又は改廃すること	2議案	「飯能市絹甚修理委員会設置要綱を廃止する告示(案)について」
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	7議案	「飯能市立名栗幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則(案)について」ほか
	教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	10議案	「平成24年度飯能市一般会計補正予算教育費(案)について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	0議案	
	人事に関すること	9議案	「平成25年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事(案)について」ほか
	その他	17議案	「奨学生の決定について」ほか
合 計	50議案		

【評価】

開かれた教育行政を推進するため、平成21年度から市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供に努め、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

一方、今後も平成22年度から平成27年度までの計画である「飯能市教育振興基本計画」に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局とさらに連携を強化して計画の実現に取り組んでいく必要があります。

なお、同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、平成24年度現在の進捗状況は次のとおりです。

教育総務課

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成度	目標値
					平成27年度
校舎の耐震化率	80.4 %	82.4 %	84.3 %	84.3 %	100 %
屋内運動場の耐震化率	68.2 %	68.2 %	72.7 %	72.7 %	100 %

学校教育課

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成度	目標値
					平成27年度
基礎的・基本的な学習内容の達成率（教育に関する3つの達成目標）	94.6 % （小学6年生）	94.2 % （小学6年生）	95.6 % （小学6年生）	100.6%	95 % （小学6年生）
	90.8 % （中学3年生）	91.9 % （中学3年生）	89.9 % （中学3年生）	94.6%	95 % （中学3年生）
新体力テストで全国平均を上回る項目の割合	55.2 % （小学校）	69.8 % （小学校）	全国平均値が未発表のため 数値不明		75 % （小学校）
	68.5 % （中学校）	61.1 % （中学校）	全国平均値が未発表のため 数値不明		75 % （中学校）

生涯学習課

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成度	目標値
					平成27年度
公開講座延べ参加者数	7,149人	7,293人	6,340人	79.3%	8,000人
出前講座開催件数	111件(累計)	170件(累計)	224件(累計)	131.8%	170件(累計)

体育課

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成度	目標値
					平成27年度
スポーツ施設利用者数	287,173人	288,852人	325,002人	108.3%	300,000人
学校体育施設開放事業における利用者数	142,772人	137,776人	137,573人	86.0%	160,000人
ツアーマーチ参加者数	12,007人	12,186人	13,072人	72.6%	18,000人

公 民 館

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成度	目 標 値
					平成27年度
公民館利用者数	311,306 人	313,824 人	320,046 人	94.4%	339,000 人
公民館学習グループ数	559 団体	535 団体	582 団体	85.6%	680 団体
健康づくり推進事業数	95 事業	98 事業	77 事業	104.1%	74 事業

図 書 館

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成度	目 標 値
					平成27年度
蔵書数	256,299 冊	262,535 冊	268,414 冊	89.5%	300,000 冊
年間貸出数	320,495 冊	311,821 冊	309,710 冊	70.0%	442,000 冊
年間利用人数	73,340 人	71,413 人	71,383 人	72.3%	98,800 人
年間児童(0～18歳)利用人数	23,413 人	22,924 人	22,988 人	76.6%	30,000 人

郷 土 館

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成度	目 標 値
					平成27年度
ホームページアクセス 月平均件数	618 件	635 件	452.8 件	98.4%	460 件
レファレンス※件数	184 件	118 件	150 件	75.0%	200 件
資料利用件数	129 件	121 件	85 件	65.4%	130 件
資料整理件数	168 件	188 件	250 件	108.7%	230 件
出張授業受講延べ人数	645 人	676 人	443 人	40.3%	1,100 人
入館者数	28,074 人	29,629 人	28,566 人	102.0%	28,000 人

※レファレンス…利用者の求めに応じ、その調査・相談等に対し資料等を使って援助すること。

6 評価懇話会委員の意見等

点検・評価の客観性を確保する観点から、飯能市教育委員会評価懇話会を開催し、各委員から次のようなご意見をいただきました。

<点検・評価全般について>

- ・飯能市でも複式学級が増えており、複式学級を無くす方向づけ等、今後の検討課題として施策に現れても良いのではないかと。
- ・達成指標は、できるだけ定量的な数値化した表現を目指してほしい。
- ・継続の繰り返しや、課の通常業務そのものが施策とならないよう、絞り込んだ重点施策となるように検討してほしい。
- ・達成できる目標を施策とするのではなく、チャレンジする目標を掲げて、それを達成するために何をするのか、そのプロセスが評価されるべきである。
- ・推進計画書は、目標達成のためのツールであり、随時修正して有効活用してほしい。また、修正した推進計画書を資料として検討してほしい。
- ・事業等をホームページ等でPRすることにも取り組んでほしい。

<評価結果について>

- ・評価結果について、昨年度と比較しB評価が62.5%から48.7%に減少しているが、その減少分がA評価に移行しており、良い結果が残せている。
- ・達成率200%というS評価の事業があり、目標値に対して大幅に上回った事業もあり、大変良い成果を挙げている。
- ・達成率100%はB評価でありやむを得ないが、B評価となっている事業の中にも、A評価としても良いのではと思われる事業もある。
- ・B・C評価については、新規目標に含めるか、継続としてほしい。未達成の事業が止まらないように、翌年度以降の事業展開に繋がるようにしてもらいたい。

7 おわりに

今年度で6年目となる教育委員会の点検・評価ですが、概ね良好な事業執行であるという評価懇話会のご意見を頂きました。このことは「飯能市教育振興基本計画」に基づき、中・長期的な視点に立って、本市の教育振興のための施策を着実に実現できるように目標を設定し、事業展開を行ってきた成果であると言えます。

一方、事業評価については、数値目標や達成度を明確にするなど、より分かりやすい評価に努めてまいりましたが、課題等を明確にした重点施策の決定や、翌年度以降の事業へ反映させることが必要であるなどのご指摘を受けました。

今後、教育委員会では、このようなご意見を踏まえ、点検・評価を通じて、課題等の改善及び事業展開を図るとともに、引き続きより効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

平成24年度 教育行政の重点施策の評価結果

1. 教育総務課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備	平成23年度から繰越した第一中学校校舎、東吾野小学校校舎、名栗小学校屋内運動場の耐震補強工事を実施する。また、原市場中学校校舎、飯能西中学校屋内運動場の耐震補強工事のための設計を行う。	・第一中学校校舎の工事は仮設校舎を設置して行い、契約は議会案件として9月議会に提案する。 ・東吾野小学校舎の工事は夏休み期間を中心に実施し、授業への影響を少なくする。 ・設計については、学校・委託業者との十分な調整を図る。	・第一中学校校舎の工事は2ヶ年にわたるため、24年度は校舎の1/2の工事を実施する。 ・東吾野小学校校舎、名栗小学校屋内運動場の工事は10月から11月に完了させる。 ・設計については3月までのできるだけ早い時期に完了させる。	<達成率 100%> ・第一中学校の耐震改修については、予定どおり校舎の1/2にかかる工事を行った。 ・東吾野小学校校舎については、予定どおり工事を終了することができた。 ・名栗小学校屋内運動場については、地域の要望等を考慮しながらの工事であったが、大きなトラブル等はなく実施することができた。 ・次年度に係る設計については、1月末日に完了した。	<B評価> 要望を生かした工事と設計が予定どおり完了したので期待どおり。 <今後の課題等> ・第一中学校の耐震改修については、平成25年度において残りの1/2を実施する。授業等への影響、近隣への環境に配慮し実施する必要がある。 ・工事の遅れによる、工期延長等がないよう学校、業者と十分な調整を行う必要がある。
	H23からの継続目標 事業名 小・中学校耐震補強改修事業					
2	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備	国際興業㈱と平成24年度から25年度まで2年間の長期継続契約を締結したが、国際興業㈱飯能営業所の撤退表明を受け、今後の通学バスの運行に係る方針(案)を作成する。	・国際興業㈱の後継事業者や路線維持の状況などを見ながら市の交通政策との調整を図る。	・平成26年度からの通学バスの運行に係る方針(案)を作成する。	<達成率90%> ・国際興業バスについて、平成26年4月1日以降も市内の運行を継続することの協定が締結された。通学バスについては、路線バスを活用した運用となっていることから、この協定の締結により、これまでと同様に通学バスを維持できることとなった。	<B評価> 通学バスの運行を継続する協定を締結できたので期待どおり。 <今後の課題等> ・公共交通政策と連携し、安定した事業運営が必要である。
	H23からの継続目標 事業名 小学校通学バス運行事業					
3	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備	学校給食の調理業務の民間委託を平成25年4月から飯能第一中学校、加治中学校、飯能西中学校の3校に導入する。	・説明会を教職員及び保護者に対して実施する。 ・業者選定は、業者の実績を事前に調査し、入札参加業者希望案を作成する。 ・補正予算(債務負担行為)を9月議会に提案する。 ・業者選定を実施し、入札により年内に業者を決定する。	年内に委託業者を決定し、平成25年度から3校に導入する。	<達成率110%> ・12月13日の見積提出会で3校の委託業者3社が決定した。 ・市で雇用している臨時調理員を対象に、決定した委託業者による求人説明会を開催し、市臨時調理員の雇用促進を図った。 ・学校栄養士、委託業者と調整を図り、4月からの委託導入に向けての準備に万全を期した。 ・平成26年度に委託をする学校は、美杉台中に決定した。	<A評価> 3校の委託業者が決定し、臨時調理員を全員雇用できたので期待を上回る。 <今後の課題等> ・3校の給食調理業務委託を順調に開始することが重要である。 ・平成26年度に委託を導入する学校への周知、業者決定のための準備を行う。
	H23からの継続目標 事業名 学校給食民間委託事業					
4	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 2 就学援助の推進	奨学金返還金の未納が増えている状況のため、未納を減らすための対策を講じて未納額を前年度より減らす。	・臨宅徴収を年間50件実施する。 ・休日返還窓口を年間3回開設する。 ・連帯保証人への通知を徹底する。	未納額を前年度より減少させる。	<達成率100%> ・未返還者については、未返還金全額を一括で返還するよう、訪問、電話、文書による督促を行った。また、督促に返答がないものについては、連帯保証人へ未返還金全額を一括で返還するよう請求を行った。 ・督促等を行ったことにより、長期間返答がなかった者から返還の相談があった。 ・未納額が3月末現在、25,875,414円で前年同月に比べ1,667,500円減額した。	<B評価> 返還請求を行い、未納額を減額できたので期待どおり。 <今後の課題等> ・未返還金の減少には、現年度分の未返還金を減少させる必要がある。現在4月～翌3月の希望月に納付書を交付していることから、今後は4月～12月に変更し、1月～3月を未返還者の整理に充てるなどの対策が必要である。
	新規目標 事業名 奨学金貸付事業					

2. 学校教育課・教育センター

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実 H23からの継続目標	学力の向上	○本市教委独自の授業改善の視点、k4の視点のうち、第3・4段階の「確認」「価値付け」に重点化した指導(年間) ○学力向上サイクルの定着 「全国学力・学習状況調査」(小6・中3)及び「埼玉県小・中学学習状況調査」(小5・中2)実施と検証(4~9月)、学力向上プロジェクト校の指定、成果の共有(9月~翌年8月)、「教育に関する3つの達成目標」(小中全学年)の検証実施(1月)、次年度からの新学力向上プロジェクトの策定(3月) ○教育機器を活用した授業づくりの推進(年間)	「教育に関する3つの達成目標」検証結果(読み書き・計算の正答率)が県平均値以上	<達成率 99%> ○「教育に関する3つの達成目標」 ●読み書き 県：小96.2% 中93.0% 市：小94.7% 中92.1% 達成率：小98.4% 中99.0% ●計算 県：小96.3% 中90.5% 市：小95.3% 中90.4% 達成率：小99.0% 中99.9% * (H18開始以来、小の読み書き、小・中の計算で過去最高値)	<B評価> 検証結果が県平均に限りなく近づいたので期待どおり。 <今後の課題等> ○「3つの達成目標」の検証結果を受け、明らかになった課題の工夫・改善を図る。 ○K4K1Dの更なる推進。読書活動を重点に、学校と家庭が連携した学力向上の取組を支援する。 ○学力向上、学習意欲の向上に向け、教育機器を活用した授業研究を推進する。 ○K4K1Dの成果を検証し、新たな学力向上施策を検討する。
	事業名 学力向上プロジェクトの推進					
2	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実 新規目標	飯能を好きな(誇りに思う)児童の育成	○郷土学習資料(小5・6年対象)「私の誇るふるさと 飯能」の活用推進 ○学習生活活用教育の推進(年間) ○地域人材や施設を利用した教育活動の推進(年間) ○アンケートの実施(2月)	アンケート実施(小5・6年対象) 「飯能を好きな(誇りに思う)」児童7割以上 *追加：好きな理由について、「○だから好き」と明確に言える(飯能市への理解)	<達成率110%> ○「飯能を好きな(誇りに思う)」児童7割以上達成(第2回調査5年77.6%、6年72.1%) *好きな理由について、歴史や文化を捉えた回答が多くみられた。	<A評価> 飯能を好きな児童が多く期待を上回る。 <今後の課題等> ○各校の年間指導計画への位置づけと郷土学習資料の活用を通じ、郷土「飯能」を好きな(誇りに思う)児童の更なる育成を図る。 ○全教育活動において郷土を愛する教育の推進について検討する。
	事業名 郷土を愛する教育の推進					
3	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実 新規目標	テレビ会議を活用した授業の導入	○平成25年度関東甲信越地区放送教育・視聴覚教育研究大会運営委員会、実行委員会との連携(年間) ○ネットワーク環境の整備 2校の光化(4月)、次年度予算化(9月) ○授業研究会実施校の指定(4月) ○研修会実施(夏季休業中等) ○民間企業等のノウハウの活用(年間)	テレビ会議を活用した授業研究会の実施(一小…東吾野小で実施予定)	<達成率110%> ○テレビ会議システムを活用した授業研究会は3校で3回実施。 ○その他教育機器を活用した授業研究会は10校で10回実施。	<A評価> システムを活用した研究会や小中学校の光化の完了で期待を上回る。 <今後の課題等> ○テレビ会議システム活用の一層の推進(授業、授業以外)。 ○全ての小中学校で、研究授業を実施し、ICT活用能力における資質向上を図る。
	事業名 教育機器を活用した授業づくりの推進					
4	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実 H23からの継続目標	体力の向上	○教職員と保護者向けの啓発資料の配布(4月) ○新体力テストの実施、分析(1学期) ○各校でH23課題種目(市全体では、小が男子「上体起こし」と、中が男子「反復横跳び」)の重点的な取組(年間) ○授業研究会の実施(2学期) ○H24課題種目の再測定、取組の検証(3学期)	新体力テストで県目標値のAとBランクの合計50%(「生きる力と絆の埼玉教育プラン」*5段階中のAとBランクは県平均を上回る) (H24課題種目は再測定結果で判定)	<達成率 90%> ○新体力テストで県目標値のAとBランクの合計 小45.7% 中58.6% *小学校の低位層の底上げができた。	<B評価> 達成目標を概ね達成したので期待どおり。 <今後の課題等> ○H23課題種目小男子「上体起こし」、中男子「反復横跳び」は県平均値に並んだ。 ○2月の結果をもとに課題を明確にし、取組の工夫を図る。
	事業名 体力向上の推進					

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
5	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 1 生きる力を育む 教育指導の充実	児童生徒の防災意識 の向上	○防災マニュアルに基づ いた訓練の実施(年3 回) ○防災教育の基礎的な知 識に関する指導実施(各 教科等) ○防災関係課、関係機関 との連携(年間) ○アンケート内容の検討 (2学期) ○各校の防災マニュアル の改訂(2月)	アンケート実施 児童生徒の防災意識向 上した学校100%(前年 度比)	<達成率 75%> ○児童生徒の防災意識 が向上した学校 小学校80%、中学校 65%	<C評価> 防災訓練に中学校が 参加しなかったため期 待をやや下回る。
	新規目標 児童生徒の主体的な 姿勢を育てる防災教 育の推進					<今後の課題等> ○中学校において、地 区行政センター・自主 防災組織と連携した合 同防災訓練を実施し、 生徒の防災意識の向上 を図る。 ○児童生徒の「状況適 応能力」を高める防災 教育の実施 ○毎年度、防災マニ ュアルの改訂
6	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 2 幼稚園・学校経営 の充実	小中連携の体系化	○中学校校区単位での小 中連絡会議での検討(年 間) <検討事項> ・9年間で育てる子ども 像 ・共通指導項目 ・小中連携事業の教育課 程への位置付け等	次年度、各校のグランド デザイン等への反 映、掲載	<達成率80%> ○各中学校区に於いて 合同研修会、相互の授 業公開など多様な連携 が図られ、次年度の各 校のグランドデザイン への反映に向けた準備 が進められている。	<C評価> 小中の連携は進んで いるが、若干の遅れが ある学校も見られ期待 を下回る。
	新規目標 9年間を見通した小 中連携の推進					<今後の課題等> ○中学校区単位で、9 年間で育てる「子ども 像」に基づき、小中連 携関連事業について教 育課程に位置付ける。
7	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 2 幼稚園・学校経営 の充実	「完全複式」に対応 できる教育課程 (案)の作成	○吾野中学校区3小 学で実践研究の推進(年 間) <研究内容> ・集団を大きくする学 習(合同学習、集合学 習、交流学習)について ・自己学習力を高める 指導方法について	研究のまとめ作成	<達成率80%> ○研究のまとめ冊子は 完成。 *複式学級3、いわゆ る「完全複式」の教育 課程は研究途上、成案 には至っていない。	<C評価> 完全複式の教育課程 は研究途上のため期待 を下回る。
	新規目標 「完全複式」に対応 できる教育課程の実 践研究の推進					<今後の課題等> ○複式授業の更なる研 究を推進する。 ○「完全複式」に対応 できる教育課程(案) を作成する。
8	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 3 教職員の資質の向上	研修内容の充実	○調査研究事業5、研修 事業(協議会、委員会の 事業含む)30の実施 ○県総合教育センター、 駿河台大学等と連携した 研修の実施 ○新しい課題に向けた研 修会の実施 ・理科の授業力向上研 修会の新設 ・武道の授業力向上研 修会の新設 ○校内研修会等への訪問 指導(年間)	研修会参加者の満足度 相当する評価項目が4. 5以上(5段階評価)	<達成率106%> ○研修会参加者の満足 度 4.77	<A評価> 参加者から高い満足 度の評価を貰ったため 期待を上回る。
	新規目標 新学習指導要領全面 実施を踏まえた研修 の推進					<今後の課題等> ○教職員のライフス テージに応じた研修会 を企画運営し、教職員 の資質の向上を図る。 ○市全体の教育課題を 解決するための実践的 な研究委嘱のあり方 について検討する。
9	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 1 生きる力を育む 教育指導の充実	飯能市全体としての 取組実施	○市、教委、校長会、市 PTA連合会との共催実 施 ○各小中学校の児童会・ 生徒会担当者打合せ会開 催(9月～)	○「飯能市いじめゼロ 子ども会議」の開催 (11月) ○各校の新しい児童 会・生徒会等による取 組実施(11月～3月 まで)	<達成率110%> ○「飯能市いじめゼロ 子ども会議」を開催 し、市内各小中学校の それぞれの取組を共有 できた。 ○会議を受け、各校児 童会・生徒会で取組を 進めている。	<A評価> 参加者から大きな評価 を貰ったため期待を上 回る。 ○会議は今後も継続し て行く。新年度に繋げ るための計画の立案。
	新規目標 いじめ問題への積極 的な取組推進					

3. 生涯学習課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	生涯学習課 III 地域の特色を生かした体験を重視し家庭・地域と連携した教育に取り組みます 1 家庭教育・地域教育の推進	子どもたちの自主性、社会性及び忍耐力を養うとともに、集団生活を送る中で基本的な生活習慣を身に付ける。	・双柳小学校5、6年生対象の通学合宿において、あいさつと規則正しい生活習慣が身に付くよう指導を行う。 ・参加児童に対し、生活チェックシートを入退所時に実施して実践度を比較するとともに、退所後一定期間経過したところで保護者に対し定着度についてアンケートを実施する。 ・加治東公民館、精明公民館で当該地区の小学5、6年生の宿泊体験事業を実施するにあたり、両館との連携を図り、必要に応じて適宜助言等を行う。	通学合宿参加児童の生活チェックシートにおける実践率及び保護者へのアンケートの定着率において、あいさつと感謝、早寝早起き朝ごはんの二項目それぞれ70%以上を目指す。	<達成率110%> 定着率調査の結果、あいさつと感謝については100%、早寝早起きについては78%の実践となり、通学合宿の成果があった。また、加治東、精明公民館においても宿泊合宿事業が実施され、学校、地域の連携により世代間交流にもつながった。	<A評価> アンケートによる定着率が目標を超えたので期待を上回る。 <今後の課題等> 今後実施する地区行政センター施設の状況や小学校との距離の関係で、実施の際に工夫を要する施設がある。それをどのように克服していくかが課題である。 事業自体は、独自に実施できる公民館も増えてきており、定着しつつある。
	H23からの継続目標 基本的な生活習慣の推進事業					
2	生涯学習課 III 地域の特色を生かした体験を重視し家庭・地域と連携した教育に取り組みます 1 家庭教育・地域教育の推進	新成人に対して成人式の目的を再認識させ、心から祝い励ます式典にする。	共催の選挙管理委員会と連携を図り、新成人に対し大人としての自覚を認識させるため、これまでの進行方法を見直して厳粛かつ秩序ある式典となるような演出をする。	対象者に対し式典参加者率80%以上を目指す。 また、秩序ある式典となるよう演出を工夫できるようにする。	<達成率110%> 教育委員会内及び選挙管理委員会と綿密な打ち合わせを行い、当日役員の増員、司会の一部変更、20年を振り返る映像の作成を行った。1月14日に式典を挙行したところ、静かで厳かな秩序ある式典を開催することができた。式典参加者率は、当日の天候(雪)の影響もあり76.2%であった。	<A評価> 例年になく秩序が保たれたため期待を上回る。 <今後の課題等> 今年度は例年になく秩序が保たれた式典となった。しかしながら、当日来賓席への誘導が遅れるなど一部反省すべき点もある。3月に反省会を開催し、次年度に向けて少しでも課題を解決できるよう検討した。
	新規目標 成人式開催事業					
3	生涯学習課 IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3地域学習の充実	市民の文化活動の一層の普及発展を図るため、その振興方策等について研究協議することを目的に飯能市文化振興会議を設立する。	設置要綱を制定し、文化活動を行っている各関係団体、各関係者に趣旨を説明して賛同していただき、12名の委員で構成する。	文化振興会議を設立し、文化活動の実態及び文化的事業について調査し、まとめる。	<達成率100%> 第2回の会議(10月開催)で各委員から各地域での文化的事業等の情報を持ち寄っていた。その中で毎年テーマを設けるといことで意見がまとまった。そのテーマを基本とし美術展や文化祭などの文化的事業の開催に反映させていけるよう第3回(2月開催)の会議で意見をまとめ、各事業へ提言した。	<B評価> 達成目標を概ね達成したので期待どおり。 <今後の課題等> 飯能市の文化について、さらに広い視点から意見交換を行えるようにするため、委員構成の見直しを行う必要がある。
	新規目標 市民の文化活動普及事業					
4	生涯学習課 IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 4学習成果の還元	青少年問題協議会の課題解消に向け調査研究を行う。	青少年問題協議会、青少年育成飯能市民会議の問題点、課題点を抽出し、その解決に向けて調査研究を行う。	近隣市の調査を実施し、協議会等のスリム化の方針案をまとめる。	<達成率75%> 近隣市等の確認をし2つの団体のスリム化を研究してきたが、行政改革により、青少年健全育成に係る組織全体を考える意見がため方向性については検討中である。 なお、3月28日の会議では、学校教育課指導主事より「飯能市いじめゼロ子ども会議の報告」をいただいた。	<C評価> 方向性について検討中であるため期待を下回る。 <今後の課題等> 協議会委員との調整、庁内関係各課との調整が必要になってくるため慎重に進める。
	新規目標 青少年関連団体の支援事業					

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
5	生涯学習課 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	市民の文化財への関心を高めるため、市内の文化財めぐり、文化財講座を実施する。	これまで刊行されている文化財印刷物を活用し、市内の文化財めぐりを実施する。また文化財について市民が関心を持っているもの、興味をひくものなどをテーマとした文化財講座を実施し、市民が文化財に親しむきっかけを作ります。文化財めぐりについては、移動方法、内容など、将来的に別の形式でのめぐりも検討していく。	文化財めぐり、文化財講座をとおり、市民の文化財への関心を高め、歴史を身近なものとして感じてもらえることを目指す。文化財めぐり、文化財講座共に募集人数に達するようにする。	<達成率100%> 8月3日に親子文化財めぐりを実施し、定員・申込み人数ともに20名だった。文化財講座は「古代・中世・近世の飯能を学ぶ」というテーマで開催し、定員50名、申込み64名だった。3月8日には、文化財講座の近世の石仏をテーマとした内容に合わせて石仏めぐりを実施し、定員30名、申込み56名で抽選による参加となった。なお、文化財講座の講師であった坂口和子氏に同行していただき石仏解説を行っていただいた。	<B評価> 文化財の講師に石仏の解説をしていただいたので期待どおり。 <今後の課題等> 参加者の移動は役所のバスを主に使用しているため、コース設定に制約があり、行ける場所が限られてしまっているため、交通手段、移動方法に工夫が必要となってきている。
	事業名 文化遺産の普及活用事業					
6	生涯学習課 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	・区画整理事業に伴い実施した発掘調査の室内調査を計画的に実施し、平成27年度までに終了させる。 ・市単独事業等の室内調査を長期計画に基づき計画的に進める。	・区画整理事業関連については、平成27年度に終了するように、毎年度末ローリングを行う。 ・平成24年度予算作成時に計画した、室内調査10カ年計画を基本に推進する。 ・今年度実施する発掘調査の状況を考慮し、室内調査への影響が最小限になるように注力しながら進める。 ・効率的に室内調査が進むように、定期的に進捗状況を確認しながら進める。	・区画整理事業関連については、加能里遺跡42次、43次調査について、出土遺物の接合作業まで終了させる。 ・市単独事業等については、『飯能の遺跡「40」』の報告書を刊行する。	<達成率100%> 区画整理事業関連は、同一事業である発掘調査が想定以上の調査量であったため、室内調査費に不足が生じ、その分作業の進捗が遅れてしまった。市単独事業については、計画どおり『飯能の遺跡40』を刊行し、初期の計画を達成した。しかし、年度末に急ぎよ発掘調査が予定され、1～3月計画していた室内調査の一部を予算不足から翌年度に繰り越さざるを得ない状況となった。	<B評価> 達成目標を概ね達成したので期待どおり。 <今後の課題等> 想定以上の発掘調査が予定された場合、担当者の事業量をどのように調整していくか、また、発掘調査優先の状況の中で、不足しがちな室内調査予算をどのように確保していくかが課題である。
	事業名 埋蔵文化財室内調査の推進事業					
7	生涯学習課 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 4学習成果の還元	青少年健全育成および子ども体験の要素を加え、世代を超えた相乗効果を図れる生涯学習フェスティバルを実施する。	実行委員会や公民館と連携し、前年度の課題であるPR、各コーナーをつなぐ動線とその各コーナーの開催時刻の配慮等に留意する。会場の次代を担う子どもたちが生涯学習の見地から様々な体験や世代間交流ができるようなコーナーを設け次世代育成に重きを置き実施する。参加者および来場者に対してアンケートを実施し、満足度を図る。	一般来場者数について、300人以上を目指す。また、参加者・来場者アンケートの「学へのヒントを発見し、それが体感できた」の割合70%以上を目指す。	<達成率110%> 3月17日、晴天に恵まれ実施し一般来場者は450人であった。展示、発表、飲食物販、青少年健全育成講演会等、様々な体験から仲間づくりと世代間交流ができた。アンケートの結果、満足度は95%であった。今回、PRに力を入れ、小中学校始め市内のイベントでチラシを積極的に配布した。	<A評価> 達成目標を超える来場者数があり、盛況であったため期待を上回る。 <今後の課題等> 今年度は小学校の校庭を使用することで、開催範囲を広げた。次年度はさらにより良い内容になるよう工夫していきたい。
	事業名 生涯学習フェスティバルの実施					

4. 体育課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	<p>体育課</p> <p>基本方針</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体力づくりの充実</p>	<p>公民館を拠点としたウォーキングの取り組みを強化するとともに、幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開する。</p>	<p>・健康づくり推進室、体育協会、公民館と連携し、市民参加の拡大を目指す。</p> <p>・健康な生活を送るための体力維持と向上を目的に、新たに『バランスDE若さアップ』を開催する。</p>	<p>・各講座定員の90%以上の参加者。</p> <p>・健康づくり推進事業の参加者、前年度10%増。</p> <p>・エクササイズウォーキング体験コースの開催による新たな参加者の発掘。</p>	<p><達成率100%></p> <p>・エクササイズウォーキング</p> <p>3回開催 参加率63%</p> <p>前年度比 24%減</p> <p>・ワンダーレッスン</p> <p>7回開催 参加率116%</p> <p>前年度比 51%増</p> <p>・体験コース</p> <p>3回開催 参加率83%</p> <p>・バランスDE若さアップ</p> <p>6回開催 参加率82%</p> <p>前年度比 21%増</p> <p>・広報はんこのう、市HP及びチラシを作成し参加者募集を行った。</p> <p>・公民館の文化祭で体験成計を使った健康アドバイスを行った。</p>	<p><B評価></p> <p>達成目標を概ね達成したので期待どおり。</p>
	<p>H23からの継続目標</p> <p>事業名</p> <p>ウォーキングを基にした健康体力づくりの推進</p>					<p><今後の課題等></p> <p>・エクササイズウォーキングを中心として、幅広い年齢層に対応した健康体力づくり事業の展開が必要である。</p> <p>・市民参加の拡大を目指すため、公民館、健康づくり推進室、体育協会との連携が必要である。</p>
2	<p>体育課</p> <p>基本方針</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体力づくりの充実</p>	<p>全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適な大会を実施する。また、第11回大会に向けた企画案を策定する。</p>	<p>・災害復興応援ウォークとして開催しと整備。</p> <p>・コースの見直しと整備。</p> <p>・吾野コースを新設する。</p> <p>・記念大会用の催し物を実施する。</p> <p>・事務処理の効率化を検討する。</p>	<p>・参加費の一部を義援金とする。</p> <p>・券金箱の設置。</p> <p>・コースの危険箇所を確認し、安全対策を進める。</p> <p>・事務改善の実施。</p> <p>・新催し物2件以上実施。</p>	<p><達成率110%></p> <p>・コース部会によるコース下見を実施し、12月に11回大会のコースが決定した。</p> <p>・市制施行60周年記念事業、東日本震災復興応援をテーマに目標人数20,000人を目指した大会計画が決定した。</p> <p>・例年より1ヶ月早い3月1日から募集開始を行った。</p> <p>・業務進捗状況を10回大会の反省に基づき見直した。</p>	<p><A評価></p> <p>予定どおり大会を開催し、吾野コースの新設もできたので期待を上回る。</p>
	<p>H23からの継続目標</p> <p>事業名</p> <p>飯能新緑ツデーマーチ</p>					<p><今後の課題等></p> <p>・朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、埼玉県ウォーキング協会等の主催団体、並びに後援団体、協力団体との連絡調整を確実にし、準備を進めていくことが必要である。</p> <p>・目標人数20,000人の達成に向けた実行委員総参加のPR活動が進むよう促していく必要がある。</p>
3	<p>体育課</p> <p>基本方針</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体力づくりの充実</p>	<p>参加チームが安心して走れる環境と運営方法の効率化を検討する。また、第11回大会に向けた企画案を策定する。</p>	<p>・申込チームの増加に伴い、参加チームの決定方法について、陸上競技協会等と検討していく。</p> <p>・競技車両の運行計画等について危機管理の面から再検証する。</p> <p>・反省点を整理し、参加チームが安心して走れる環境と運営方法の効率化を検討する。</p> <p>・事務処理の効率化を検討する。</p>	<p>・参加チーム数の上限220チームを目指す。</p> <p>・競技上の事故"0"を目指す。</p> <p>・事務改善の実施</p>	<p><達成率110%></p> <p>・出場チームの上限220チームに対し、261チームの応募があったため、競技規程に基づき選考した。</p> <p>・中継所備品、閉会式・表彰式の備品について、レンタルに対応したことにより、大会準備や現場での作業が効率化できた。</p> <p>・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。</p>	<p><A評価></p> <p>有名選手の参加や自治会の協力により盛大に開催できたので期待を上回る。</p>
	<p>H23からの継続目標</p> <p>事業名</p> <p>奥むさし駅伝競走大会</p>					<p><今後の課題等></p> <p>・申込チームの増加に伴い、参加チームの決定方法について、引き続き検討していく必要がある。</p> <p>・11回大会の反省点を整理し、参加チームが安心して走れる環境と運営方法の効率化を検討する。</p>
4	<p>体育課</p> <p>基本方針</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体力づくりの充実</p>	<p>「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針に定める具体的な取り組みを推進する。</p>	<p>・専門指導員を配置する。</p> <p>・各小中学校と調整を取りながら専門指導員による巡回ホッケー教室を開催する。</p> <p>・ホッケーのPR活動の方法について検証する。</p> <p>・ホッケーのまちづくりを推進するため、競技団体・学校関係者による懇話会を立ち上げる。</p>	<p>・専門指導員による巡回ホッケー教室の開催。</p> <p>・小学校：8校以上</p> <p>・中学校：4校以上</p> <p>・市ホームページ等を活用したホッケーのPR活動を実施する。</p> <p>・基本方針に定める具体的な取り組みの実施計画を策定する。</p>	<p><達成率105%></p> <p>・巡回ホッケー教室</p> <p>小学校：7校</p> <p>中学校：2校</p> <p>高校：1校</p> <p>中学生放課後：1クラブ</p> <p>・市HP及び市民活動センターを利用し、ホッケーのまち飯能をPRした。</p> <p>・中学校部会を開催し、中学校に係る取組について、学校関係者と意見交換を行った。</p> <p>・競技団体と意見交換を進め、「ホッケーのまち飯能」推進計画（平成25～29年度）を策定した。</p> <p>・ロンドンオリンピック出場に加藤明美選手による市内3小学校での講演会を開催した。</p>	<p><A評価></p> <p>体育の授業カリキュラムとし、全国大会の誘致決定により期待を上回る。</p>
	<p>新規目標</p> <p>事業名</p> <p>ホッケーのまちづくり</p>					<p><今後の課題等></p> <p>・中学校での普及事業が広がるよう、学校関係者と調整を進める必要がある。</p> <p>・ホッケーのPR活動について、より効果の高い手法を検討する必要がある。</p> <p>・「ホッケーのまち飯能」推進計画に基づき、競技団体、学校関係者、教育委員会のそれぞれの役割に応じた主体的な取組を促していく必要がある。</p>

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
5	体育課 基本方針 1 スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます。 2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上 H23からの継続目標	施設の利便性・安全性を向上させるため、修繕計画を策定し、更新・修繕を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画課、体育課による施設修繕を体育協会と連携して実施する。 ・利用者アンケートを踏まえた修繕計画の見直し。 ・総合振興計画実施計画と連携した修繕計画の見直し。 	・市民体育館屋上防水工事の完成 ・修繕工事の予定工期内完成 ①市民体育館事務室前自動 ドア他修繕：6月末 ②市民体育館サブアリーナ 器具庫扉交換修繕：8月末 ③市民体育館廊下・弓道場 天井修繕：6月末 ④市民体育館メインアリーナ 国旗市旗設置工事：5月末 ・施設修繕計画の見直し。 (総合振興計画実施計画と連携)	<達成率100%> ・市民体育館屋上防水工事が完成した。 ・修繕工事 市民体育館事務室前自動 ドア他修繕(10月完成) 市民体育館サブアリーナ 器具庫扉交換修繕(3月完成) ・全日本男子ホッケー選手権大会の開催に向けて、体育協会と連携しホッケー場の施設修繕を実施した。 ・施設の利便性・安全性を向上させるための修繕を行った。	<B評価> 達成目標を概ね達成したので期待どおり。 <今後の課題等> ・都市計画課、指定管理者との連携を図り、計画的に施設修繕を行う必要がある。
	事業名 施設の修繕と計画の策定					
6	体育課 基本方針 1 スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます。 2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上 H23からの継続目標	運動施設の利便性の向上とスポーツ関係情報の発信をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会のホームページなどを利用してリアルタイムに情報発信する。 ・予約システムについて検証する。 ・美杉台公園運動施設を月曜開館をする。 ・指定管理者更新に向けた準備を進める。先進自治体への調査、資料収集 	・体育協会のホームページへの情報掲載件数月1回以上。 ・月曜開館の結果を踏まえ、全運動施設の月曜開館に向けて問題点・課題を整理する。 ・指定管理者更新方針の決定	<達成率 90%> ・市民球場について、12月、3月の休場期間を開場した。 ・美杉台公園の3施設の月曜日開場を行った。 ・市民体育館ロビーの配置換えを行った。(中央にあった下駄箱を端に寄せ、スペースを確保した。) ・すべての体育施設を一覧にしたパンフレットを作成した。 ・指定管理者更新方針を決定した。公募により、5年間の指定管理者を募集することとなった。	<B評価> 達成目標を概ね達成したので期待どおり。 <今後の課題等> ・都市公園運動施設について、利用者ニーズを捉えた自主事業の充実を進める必要がある。 ・指定管理者のHPを活用し、都市公園運動施設の利用者数の増加を図る必要がある。 ・市民プールについて、監視業務が警備業となったため、開場期間について検討する必要がある。
	事業名 利用者サービスの向上					

5. 図書館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 1 生涯学習推進体制の整備	時代の変化や多様な学習ニーズに応えられるよう、新図書館の建設を完了する。	・契約検査課に依頼して、新図書館に使用する西川材の入札を行う。 ・建築課と協議して、新図書館の家具工事、外構工事を行う。 ・新図書館で使用する備品・消耗品を調達する。 ・平成25年4月の電算システム更新を目標に関係部署と協議し、新図書館に導入する電算システムおよびICTタグの選定を行う。	・平成25年2月までに新図書館の建設を完了させる。 ・平成25年3月までに備品類、消耗品類を購入し、新図書館に搬入する。 ・平成25年度当初に新しい電算システムが導入できるよう準備する。	<達成率110%> 西川材の調達には順調に行われ、建設関連の諸工事は3月末まで契約期間を延長したが、年度内に完成し建物の引き渡しを受けた。備品・消耗品の発注を行い3月中に納品された。 4月の電算システム契約入札に必要な仕様と契約方法について関係部署・関係業者と協議を行った。	<A評価> 全体的に満足度の高い成果により期待を上回る。 <今後の課題等> 建物の建設は完了したが、電算システムの調達は4月以降になるので開館までの短期間で確実に導入する必要がある。
	事業名 H23からの継続目標 新図書館建設を完了させる					
2	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 1 生涯学習推進体制の整備	新図書館開館に向けてサービス・運営計画を作成する。	・サービス・運営計画の骨子案を市民に公開し、意見を募る。 ・市民から寄せられた意見を検討し、最終案に反映させる。	平成25年3月までに最終案をまとめる。	<達成率110%> 11月にパブリックコメントを実施し、寄せられた意見を最終案に反映させた。国が定める基準の改定にも対応して内容を修正した。 最終案は教育委員会、行政経営会議、全員協議会を経て3月に市民に公開した。	<A評価> 全国に先駆けて計画に盛り込めたため期待を上回る。 <今後の課題等> 完成した計画の実現と、サービス目標値の達成ができるように運営を行うことと、平成28年度以降の計画の策定準備が課題となる。
	事業名 H23からの継続目標 新図書館サービス・運営計画の策定					
3	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	新図書館開館に向けて、図書資料の整備と整理を進めると共に、視聴覚資料の導入を開始する。	・新図書館の資料配置に対応できるように郷土行政資料の再整理を行う。 ・ライオンズクラブの寄付による資料購入を行う。 ・外国語資料の購入を行う。 ・新図書館への資料移転計画を作成する。 ・視聴覚資料の整備案を作成し、今年度予算分を購入する。	・図書資料の整理を進め、平成25年3月までに移転準備を完了する。 ・外国語資料、視聴覚資料は目標点数を購入し、受入する。 目標点数 外国語資料 200冊 CD 100点 DVD 100点	<達成率200%> 郷土行政資料の再整理は完了した。 外国語資料250冊、CD250点、DVD200点の発注・受入れを完了した。 新図書館開館用資料として約5千冊の選書を実施した。 資料配置を考慮した移転計画を作成した。	<S評価> 100%補助事業により事業を実施できたため期待を著しく上回る。 <今後の課題等> 寄付を含め資料購入予算の獲得が順調に進み、資料の選定や整理も次年度分まで前倒しで完了することができた。 懸案だった資料へのICTタグの貼付も県補助金によって10万冊への作業を完了した。
	事業名 新規目標 図書資料、視聴覚資料の整備					
4	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	新図書館開館に向けて、例規類等の整理・整備をする。	・関連する規則・条例の改正を行う。 ・図書館資料選定基準案を作成する。 ・新図書館でのサービスに必要な業務マニュアルをリストアップし、各マニュアルの素案を作成する。	・平成25年3月までに図書館条例および条例施行規則の改正を行う。 ・平成25年3月までに、図書館資料選定基準案および業務マニュアル集の素案をまとめる。	<達成率 100%> 関連する条例・規則改正を行った。 図書館資料選定基準案を作成し、各種業務マニュアル集の素案も完成した。	<B評価> 条例・規則改正、マニュアルの素案等、概ね目標値に達したので期待どおり。 <今後の課題等> 資料選定基準案は、新図書館で今後新たに収集する分野についての記述を加えて成案にする必要がある。 各業務マニュアルは現在の業務に対応しているものなので新図書館での業務に対応するために修正を要するものも多い。
	事業名 新規目標 例規類の整備・充実					

7. 公民館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	地域課題や社会の変化に応じた公民館の講座を開催する。	地域の特性を生かした講座の開設するため、市民の要望や地域課題を捉える機会を積極的につくり、市民の要望に沿った講座を把握し、市民満足度の向上を図れる講座を計画する。	市民の要望や地域課題を捉えるた講座を1講座以上開催する。	<達成率 95%> 各公民館ごとに地域の課題を捉え、講座を開催した。地域の年齢層を捉えたり、地域の歴史や防災に関する講座などを開催した。	<B評価> 各公民館で講座が開催できたので期待どおり。 <今後の課題等> 地域の課題や特性の発見のために更に情報収集を行う必要があることと、課題にマッチした講座を開催すること。
	事業名 H23からの継続目標 学級講座の充実					
2	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	生涯学習の推進のため、市民への情報発信を積極的に行う。	公民館と生涯学習課、体育課及び他部局との連携を図り、地域情報などを収集し、地域に適した情報や市全体の情報発信の基礎づくりを行う。	地区行政センターだよりによる市民周知や生涯学習課の出前講座を2回以上開催する。	<達成率95%> 情報発信については、これまでの各館の広報紙「だより」を通して情報発信を行った。この発信方法は紙面の規模や発行回数を変更した。また、地域内の掲示を新たに試みることも行った。出前講座の2回達成は実施できなかった。	<B評価> 概ね目標値に達したので期待どおり。 <今後の課題等> 出前講座の充実については、情報発信を一層積極的に行う必要がある。
	事業名 H23からの継続目標 学習相談体制の充実					
3	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	学校や青少年関係団体、地域の団体などと公民館が連携した事業を行う。	学校や各種団体連携した事業推進のため、関係機関との連携強化をより一層行い、協力して進められる事業を計画する。	年度内に1講座以上開催する。	<達成率 100%> 学校や各団体との連携した事業の推進は、市役所の各課、商工会議所、食生活改善推進委員会、まちづくり推進委員会、PTAなどと連携した事業を行った。	<B評価> 地域やボランティアの活用も図れ、概ね目標値に達したので期待どおり。 <今後の課題等> 学校と連携した事業をより推進するために通学合宿やトレーニングキャンプの充実を図らなければならない。
	事業名 新規目標 学校との連携					
4	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	市民が心身ともに元気に地域活動に参加できるように、地域住民の健康増進を図る。	市民の健康に対する意識が高まり、様々な健康づくりの機会が求められていることから、関係機関と連携し、地域の史跡や特産品を活用した健康づくりと健康増進に関する講座を開催する。	公民館ごとに作成したウォーキングマップを活用し、地域の資源を活用したウォーキング及び健康づくりウォーキングを各1回以上開催する。	<達成率 100%> ウォーキングについては、各館で積極的に事業を実施した。地域を知るためのウォーキングや地域に関連した地域外の地域でのハイキングなど地域の魅力の発見と健康づくりに繋がる事業を実施した。また、バランスで若さアップなど健康づくり事業を推進した。	<B評価> 各館で開催できたことから、概ね目標値に達したので期待どおり。 <今後の課題等> ウォーキング人口の拡大のため、最終目標などを定め、新たな参加者を拡大する。
	事業名 新規目標 健康増進講座の充実					

8. 郷土館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	郷土館	特別展「飯能地域の山岳寺院」(仮称)を多くの人に見ていただくとともに、来館者が満足できる内容とする。	「山岳寺院」が飯能の重要な地域資源の一つであることを広く紹介する内容の分かりやすい展示とするとともに、広報活動を積極的に展開する。	展示期間中の入館者数が1日平均110人以上とするとともに、入館者のアンケートによる満足度75パーセント以上とする。	<達成率 110%> 48日間の会期中、入館者数のべ5,353人、1日平均111.5人、アンケートによる満足度82%であった。 関連事業も含め、来館者からは好評で、山岳寺院を地域資源として紹介することができた。	< A 評価 > 来館者の満足度も高く、展示図録も完売したことから期待を上回る。
	基本方針 IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実					< 今後の課題等 > 調査研究活動の継続。地域資源としての山岳寺院のアピール、参道のエコツーリズムでの活用を推進。
	事業名 新規目標 特別展の充実					
2	郷土館	「成熟した市民社会の実現」の1つとして郷土館では市民学芸員の活動を充実させる。	毎月の定例会での議論を活性化させるとともに、部会活動、自主活動を活発に展開できるように援助する。	博学連携型市民学芸員の各種活動・会合を年間20回以上開催するものとする。	<達成率100%> 例会11回、学習会準備会等9回、部会活動2回の計22回の活動を行った。 麦・花・生花サークルなどを立ち上げたこともあり、活動が活性化した。	< B 評価 > 概ね目標値に達し、サークルの立ち上げもあり期待どおり。
	基本方針 IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実					< 今後の課題等 > 市民学芸員との意思疎通を綿密にし、要望にあった事業を用意するなど、市民学芸員のモチベーションを維持していくことが必要。
	事業名 H23からの継続目標 市民学芸員活動の充実					
3	郷土館	当館で保有している情報の効率的な活用、市民への提供をめざして、他博物館・他市等から寄贈される図書の受入基準を策定する。	既存図書の整理・分析、受入基準の策定、配架スペースの確保。	図書受入基準の策定	<達成率90%> 図書受入基準を策定し、目標は達成した。しかし、配架スペースの確保はできなかった。	< B 評価 > 概ね目標値に達したので期待どおり。
	基本方針 IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実					< 今後の課題等 > 配架スペースの確保
	事業名 新規目標 収蔵図書の整理					